

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年5月23日(2013.5.23)

【公開番号】特開2011-227119(P2011-227119A)

【公開日】平成23年11月10日(2011.11.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-045

【出願番号】特願2010-93763(P2010-93763)

【国際特許分類】

G 03 B 21/14 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 03 B 21/14 D

G 03 B 21/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月2日(2013.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源と、

前記光源から射出された光を、画像信号に応じて画像光に変調する光変調装置と、

前記光変調装置で変調された前記画像光を投写する投写レンズと、

前記投写レンズに対して所定の調整動作を行うレンズ調整機構と、

操作信号を受け付ける操作受付部と、

前記操作受付部が第1の操作信号を受け付けた場合に、前記レンズ調整機構による前記所定の調整動作を禁止するレンズ調整禁止状態に切り換える制御部と、
を備えることを特徴とするプロジェクター。

【請求項2】

請求項1に記載のプロジェクターであって、

前記レンズ調整機構による前記所定の調整動作は、

焦点調整のためのフォーカス調整動作、または、投写画角を調整するズーム調整動作、
または、前記投写レンズを移動させることによって画像の投写位置を調整するレンズシフト調整動作とすることを特徴とするプロジェクター。

【請求項3】

請求項1または2に記載のプロジェクターであって、

前記レンズ調整禁止状態において、前記操作受付部が、前記レンズ調整機構による前記所定の調整動作を行わせるための第2の操作信号を受け付けたときに、前記レンズ調整禁止状態である旨の画面を投写させる調整禁止表示制御部をさらに備えることを特徴とするプロジェクター。

【請求項4】

請求項1乃至3のいずれか一項に記載のプロジェクターであって、

前記レンズ調整機構による前記所定の調整動作における調整量情報を記憶可能な調整量記憶部をさらに備え、

前記制御部は、前記操作受付部が前記第1の操作信号を受け付けると、前記調整量情報を前記調整量記憶部に記憶させ、

前記制御部は、前記操作受付部が第3の操作信号を受け付けると、前記調整量記憶部に記憶された前記調整量情報に従って、前記レンズ調整機構に前記所定の調整動作を行わせることを特徴とするプロジェクター。

【請求項5】

請求項1乃至3のいずれか一項に記載のプロジェクターであって、

前記レンズ調整機構による前記所定の調整動作における調整量情報を記憶可能な調整量記憶部をさらに備え、

前記制御部は、前記操作受付部が前記第1の操作信号とは異なる第4の操作信号を受け付けると、前記調整量情報を前記調整量記憶部に記憶させ、

前記制御部は、前記操作受付部が前記第3の操作信号を受け付けると、前記調整量記憶部に記憶された前記調整量情報に従って、前記レンズ調整機構に前記所定の調整動作を行わせることを特徴とするプロジェクター。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれか一項に記載のプロジェクターであって、

前記レンズ調整禁止状態において、前記制御部は、前記操作信号に基づき、前記レンズ調整機構の前記所定の調整動作以外の制御を実行することを特徴とするプロジェクター。

【請求項7】

光源と、前記光源から射出された光を、画像信号に応じて画像光に変調する光変調装置と、前記光変調装置で変調された前記画像光を投写する投写レンズと、前記投写レンズに対して所定の調整動作を行うレンズ調整機構と、操作信号を受け付ける操作受付部と、を備えるプロジェクターの制御方法であって、

前記操作受付部によって第1の操作信号を受け付ける第1操作受付ステップと、

前記第1操作受付ステップによって前記第1の操作信号を受け付けた場合に、前記レンズ調整機構による前記所定の調整動作を禁止するレンズ調整禁止状態に切り換える制御ステップと、

を備えることを特徴とするプロジェクターの制御方法。